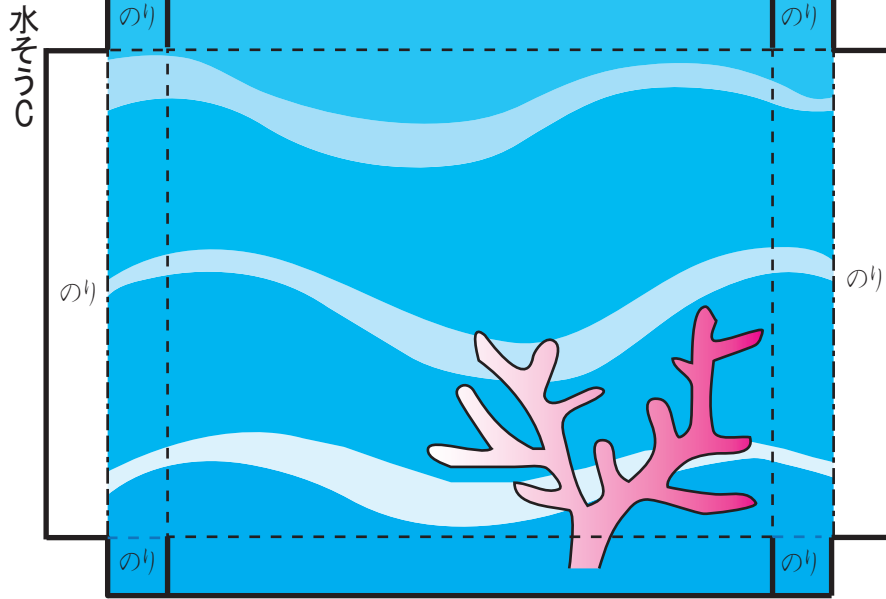


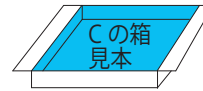
# 美ら海 水族館をつくろう

谷おり 山おり 切る線 太線



D 水族館を立てるときにつかう。

Cの箱をつくる

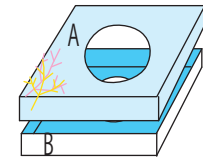


このDを3つにおり  
△を作り水族館のうらに  
はって立てる。

谷おり  
山おり  
切る線  
太線

図3

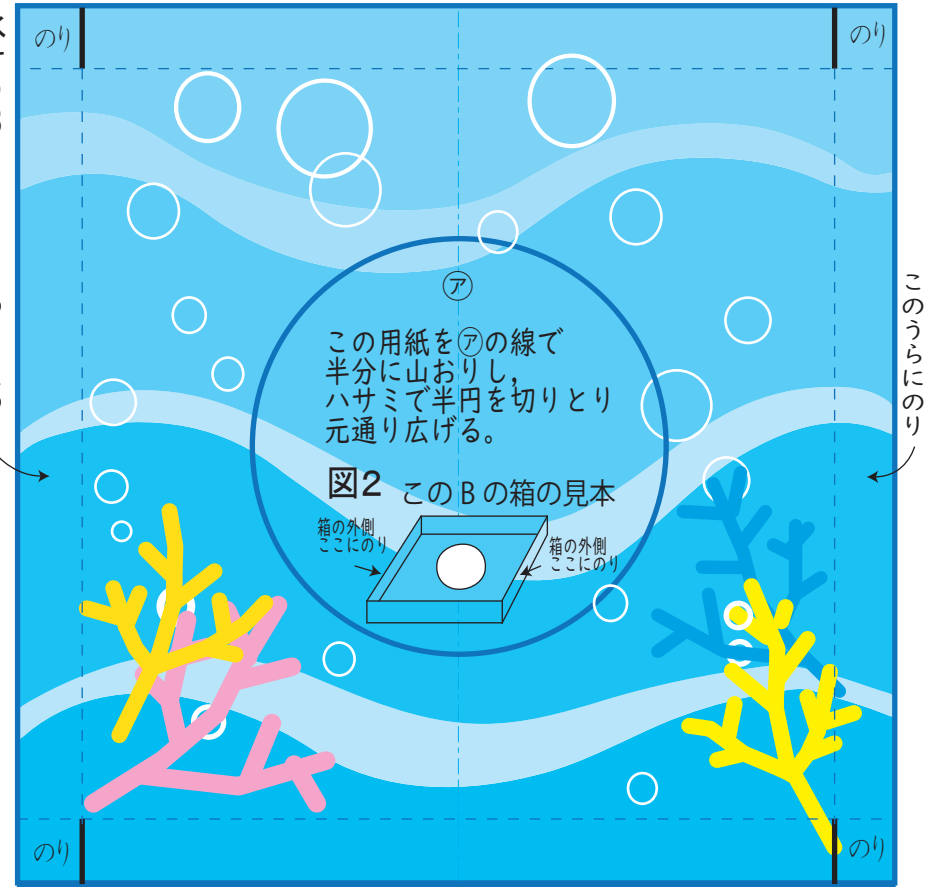
AをBにかぶせて  
箱をつくる



のり

水そうB

このうらにのり



このうらにのり

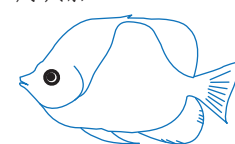
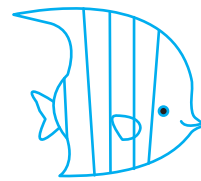


このAは、図3のようにBに  
上からかぶせるふたになる。

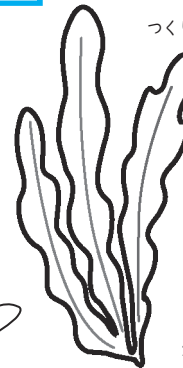
このAの箱の見本

図1

ハタタテウオ



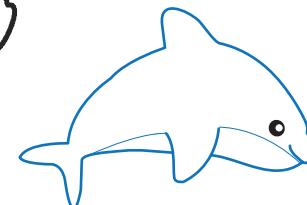
カスミョウウオ



つくりか



スジキツネバ



バンドウイルカ



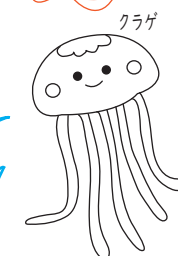
ミナミハタタテウオ



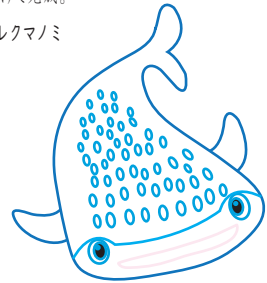
チュウミギガコヒトデ



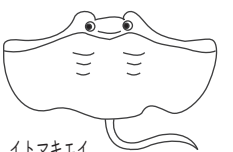
カクレクマノミ



アオウミガメの子ども



ジンバイザメ



イトマキエイ

①水そうABCを切りとり、短い太黒線のところに切れ込みを入れる。②ABC3つの水そうを谷おり山おりしておる。③水そうAとBの四すみの「のり」部分にのりをつけ、図1、図2のようにかたちをつくる。④Cを見本のようにつくり、両はし上向き部分にのりをつけBのうらの真ん中につける。⑤魚をおおまかに切り取る。⑥水そうにおく魚などを配置する。一番深い水そうCにジンバイザメなどを配置し、次に水そうBに、次に水そうAに配置する。3つの水そうのバランスをみて、配置がよければのりではっていい。⑦最後に図3のように水そうAとBをくっつけて完成。